

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【公開番号】特開 2012-22175 (P2012-22175A)

【公開日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2012-005

【出願番号】特願 2010-160476 (P2010-160476)

【国際特許分類】

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 27/62

H 0 4 N 1/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 12 日 (2013.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

取付部材 2 は、とくに図 7 と図 13 に示したように、その底板 2 a に設けた平面ひょうたん形状の取付孔 2 e へ通した図示していない公知構成の取付釦を介して機器本体 1 a 上へ着脱可能に取り付けられている。両側板 2 b、2 b には、その後部上端に軸受孔 10 b、10 b を有する軸受部材 10 c、10 c を取り付ける第 1 取付孔 2 d、2 d が設けられると共に、その前端部側には、後述するスプリングローシャフト 9 を介してスプリングケース 3 を取り付ける第 2 取付孔 2 f、2 f が設けられている。この取付部材 2 の両側板 2 b、2 b には、さらに、第 1 取付孔 2 d、2 d と第 2 取付孔 2 f、2 f の間に位置して半径は異なるが互いに連続している円弧状の第 1 ガイド溝 2 g、2 g と第 2 ガイド溝 2 h、2 h から成るガイド溝 2 i、2 i が設けられており、さらに、後板 2 c には、ストッパー板 19 が取付ネジ 19 a、19 a を介して取り付けられている。そして、第 1 ガイド溝 2 g、2 g と第 2 ガイド溝 2 h、2 h の連結部分には、交差部 2 j、2 j が設けられている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

まず、開閉機構 K の構成について説明する。この開閉機構 K は、取付部材 2 の両側板 2 b、2 b の後部側に設けた第 1 取付孔 2 d、2 d に取り付けした軸受部材 10 c、10 c の軸受孔 10 b、10 b に連結させたメインシャフト 10 を介して回転可能に取り付けられたアップアーム部材 6 と、このアップアーム部材 6 の自由端側に取り付けられたところの原稿圧着板 18 の支持部材 8 と、取付部材 2 の両側板 2 b、2 b の前端部側にスプリングローシャフト 9 を介して揺動可能に取り付けられたスプリングケース 3 と、このスプリングケース 3 をスライド可能に収容し前記アップアーム部材 6 の両側板 6 b、6 b の略中央部にスプリングアップシャフト 11 を介して揺動可能に取り付けられたスライダケース 4 と、このスライダケース 4 と前記スプリングケース 3 との間に弾設された弾性手段 5 とで構成されている。実施例 1 のものは、弾性手段 5 に大小の圧縮コイルスプリン

グ 5 a、5 a・5 b、5 bをそれぞれ重ねて用いている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

この水平上昇状態から、さらに原稿圧着板 18 の手前側を上方へ持ち上げると、今度は選択動作手段 S を介して開閉機構 K が動作する。即ち、アップーアーム部材 6 がメインシャフト 10 を支点に右方向へ回転する力を受け、ローラ 17、17 がガイド溝 2 i、2 i の第 2 ガイド溝 2 h、2 h 内に嵌入し、アップーアーム部材 6 の右方向の回転を許容される。すると、原稿圧着板 18 は水平上昇状態の高さを維持したまま支持部材 8 とともに回転することになり、図 5 と図 10 に示したように、原稿圧着板 18 は支持部材 8 と共にメインシャフト 10 を支点に回転して開かれることになる。そうすると、弾性手段 5 の弾力はスライダーケース 4 を介して支持部材 8 に作用していることから、原稿圧着板 18 はその重量を余り感じさせることなく開かれることになり、弾性手段 5 の弾力と原稿圧着板 18 の重量がバランスしたところで、原稿圧着板 18 より手を離しても自然に落下して閉じられてしまうことはない。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

